

令和2年10月30日



11月 釜小だよ!

横浜市立釜利谷小学校

釜小Web <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/kamariya/>



秋の深まりの中で

校長 菊池 幸博



令和2年度のスローガン

10月24日(土)には、本校の運動会に多くの保護者の皆様の参観をいただきありがとうございました。おかげさまで秋空のもと、半日の開催ではありましたが、久しぶりに子どもたちは、学校でがんばる自分の姿を見せることができ、大変うれしそうに活動をしていました。特に最高学年である6年生は、例年行われる「釜小ソーラン」を披露することができないにもかかわらず、運動会特別委員会としての役割をしっかりと果たしていました。様々な制約・制限の中の運動会ではありましたが、その子どもたちにとっては良き経験になったのではないかと、いえ、良き経験としてとらえてほしいと思いました。

保護者の皆様には応援場所等でご不便をおかけいたしました。ご理解とご協力いただき本当にありがとうございました。ご感想やご意見につきましては年末の学校アンケートにお書きいただければ幸甚です。

また地域の皆様には、今年度は来校いただくことを遠慮申し上げます。日頃から支えていただいている分を、子どもたちの姿を通して少しでもお返しできたらとは考えましたが、なにぶんにもコロナ禍、ご容赦願います。

さて、秋もすっかりと深まり、冬支度が必要になってまいりました。11月に入りますと、学校では運動会に続き、次年度の1年生が初めて学校を訪れる就学時健康診断もごございます。さらに様々な行事等が迫ってまいります。低学年の校外学習(1年：金沢動物園 2年：野毛山動物園 3年：横浜自然観察の森10/30)をはじめ、保護者の方にもご協力をいただく交通安全教室等です。以前にも申し上げましたが、学びをつくっていくうえで、大切にしたいことの一つに「本物に触れること」があります。今年度はなかなかゲストティーチャーを学校にお呼びすることはできません。そこで、少ない機会ではありますが、校外に出て本物を見たり、本物に触れたり、実際に自分が経験することで、より一層深い学びにつなげていくようにしたいと考えています。



開会式 全校児童整列